

増穂だより

M A S U O D A Y O R I

高等学校卒業式典号



芝浦工業大学柏中学高等学校

<http://www.ka.shibaura-it.ac.jp>

〒277-0033 千葉県柏市増尾 700 番地

TEL 04-7174-3100(代) FAX 04-7176-1741

編集 総務部

発行日 2020年3月2日

印刷所 株横浜綜合写真

Intellectual Dialogue

— 38 期卒業 —

2019 年度芝浦工業大学柏高等学校卒業式告辞

— 学校長 — 野村 — 春路 —

知性を持つこと

卒業生みなさん、ご卒業おめでとう。保護者の皆様、本日はおめでとうございます。本校は、芝浦工業大学の歴史と伝統を踏まえ、1980年にここ柏市増尾の地に創立され、1990年に男女共学とし、1999年に中学校を併設して今日に至りました。これまで本校は約1万名を超える卒業生を輩出し、みなさんは高校38期生として、その仲間入りをする日を今日迎えました。

さて、今日ここに柏高等学校を巣立って行くみなさんに「知性」をテーマとしたお話しをしたいと思います。まず「知性とは何か」という点ですが、ここでいう知性という言葉の辞書的な定義は、「物事を考え、理解し、判断する能力。人間の知的能力。（大辞林）」となっています。本来、このような知性を、その活用の度合いの差こそあれ、多くの人間が持っていると考えられます。ところが最近「反知性主義」と呼ばれる現象が起こっており、多くの人間が持っている知性に対する考え方を問い直す必要性が現在生まれてきているのです。ここでいう「反知性主義」の背景について触れますと、このところ世界の国々に排外主義的な主張を声高に言う指導者たちが、登場しています。それらの指導者たちを支持する大衆は、正義は必ず自分にあり、対立する国家や民族、グループは常に間違っており不正である、という信念を強固に持って、別の思想や考え方を持った人との議論や討論をする余地がないという状況があります。ここに見られるような現象が「反知性主義」です。教育学者の齋藤孝さんは、この「反知性主義」を、「知的な権威や良識を懐疑し、論理や論理性、科学的な裏付けを軽視する一方で、好き/嫌いなどの素朴な感情や自分たちの主観的なものの見方に価値を置く態度」と定義しています。ポスト・トゥルース (post-truth) の時代、つまり「客観的な事実や真実が重視されない時代」が現在来ているとも言われています。

この現象を生み出した原動力は、インターネット上のソー

シャル・メディア (SNS) であると言われています。ネットにおいては、事実上、事前の検閲や一切の制限もなく、誰でも、どのような内容でも投稿することが可能であり、きわめて異様な主張が広範囲に流通し、「いいね」というような好意的なマークが付けられなくても、ただ多くの人に見られているという理由だけで一定の信用を獲得しているということが起こっています。また、現在のネットのプラットフォームとアプリ上では、その人が閲覧しているニュースや記事をもとに、自分にとって好ましい情報ばかりが与えられるシステムになっています。これらが「論理や論理性、科学的な裏付けを軽視する一方で、好き/嫌いなどの素朴な感情や自分たちの主観的なものの見方に価値を置く態度」を助長する要因になっていることは、疑うことはできないでしょう。

このような状況にあって、私たちはどのように知性を持つべきなのでしょう？

まず、この問いを考える出発点として、次のことを確認したいと思います。それは「知性」は「知識」とは違うということです。もの知りの人が知性のある人とは必ずしも言えないでしょう。知性については、いろいろな人が考え方を述べているのですが、私が考える知性とは、まず身の回り、地域、日本、アジア、世界にある問題を見つけ出し課題設定をする。それに対して知識や技能を使って調べ自分の考えを構築する。次になぜそういう考えになったのかを説明できるようにする。そして自分と考えが異なる人と議論して、自分の考えを再構築する。これを繰り返すことによって、知性は磨かれていくと考えます。さらにみなさんが身に付けた磨かれた知性は、これからみなさんが生きて行くために大きな力となると確信しています。

みなさん一人一人が、未来を変える力を持っています。その未来に進むために卒業式にあたり、これからは知性を働かせ、知性を持つことが生きる力になるということをお話しました。これをみなさんへのメッセージとしたいと思います。

目次

学校長告辞 / 式次第	1 P
受賞の喜び / 巣立ちゆく者たちから	2 P
巣立ちゆく者たちから / 贈る言葉	3 P
贈る言葉 / 保護者から	4 P

一、 閉式の辞	一、 校歌斉唱	一、 卒業生保護者代表 謝辞	一、 記念品贈呈	一、 堂の光斉唱	一、 答辞	一、 送辞	一、 学校法人代表式辞	一、 学校長告辞	一、 賞状賞品授与	一、 卒業証書授与	一、 開式の辞
------------	------------	----------------------	-------------	-------------	----------	----------	----------------	-------------	--------------	--------------	------------



受賞の喜び

創立者有元史郎記念賞 自分自身
5組

この度は素晴らしい賞を頂くことができ、大変嬉しく思います。僕を支えてくださった周りの方々に感謝申し上げます。

さて、今回この賞を頂くに当たって芝柏での6年間で自分は何を得ることができたのかということを改めて考え直しました。大切な仲間や先生方との思い出も勿論その中に入ります。しかし何より僕は「自分自身」を手に入れたのだということに気づきました。この学び舎でできた数多くの経験一つ一つが未知の自分との出逢いであり、そしてそれらが積み重なって今の「自分自身」が出来上がったのです。

これからも理想の「自分自身」に近づいていけるように努力していきたいと思います。本当にありがとうございました。

千葉県知事賞 今後の糧に
5組

はじめに、高校生活の最後にこのような賞をいただき光栄です。6年間の学校生活は、普段の授業に加え海外研修などの特別な機会も与えられ、また個性溢れるクラスメートや部活の仲間から常に刺激を受け、時に躓きながらも周囲に支えられて伸び伸びと過ごせた有意義なものでした。

しかし、この居心地の良い学校を卒業すると、ただ待っているはチャンスは与えられないより厳しい環境と向き合っていくことになると思います。この学校で培ったものを礎として、自立し成長した人間になれるようこれからの日々を送っていきたいと思います。

最後に、6年間自分達の学校生活を支えてくださった先生並びに学校関係者の皆様に感謝申し上げます。

千葉県私立中学高等学校協会賞 これまで、そしてこれから
4組

この度、受賞させて頂き、大変嬉しく思っております。長い間、数々の苦難を乗り越えて参りました、中学・高等学校での学校生活も、幕を閉じようとしております。

私は常日頃より「独自性」に重きを置くべきだと考えております。だからこそ、学習面のみならず多岐にわたり、自分に合った「やり方」を模索して参りました。その中で、先生方が個性を最大限に尊重して下さったことや、両親が陰ながら支えてくれたことには、感謝してもしきれない程であります。また、このような私を疎むことなく付き合ってくれた仲間たちには、心より敬服致しております。

中高6年間、学内外で得させて頂いた、数え切れぬほど多くの知識や経験を糧に、自身のため、また他者のため、より一層努力して参ります。

本当にありがとうございました。

巣立ちゆく者たちから

生涯の宝物
1組

ついに卒業の日がやってきました。高校3年間というのはあっという間でした。オーストラリア研修などの行事や、日々の生活を思い返すと、次々と楽しかった記憶が蘇ります。また今年は受験生という緊張感を持ちつつも、球技大会や文化祭など行事にも力を入れる人が多く、最後まで充実した高校生活を送ることが出来ました。

しかし時には、勉強のことで焦りや不安を感じたり、部活動のことで悩むなど辛いこともありました。そんな時、周りの人達が自分を支えてくれました。芝柏にきたことで出会えた友人や先生はかけがえのないものです。もうこれから先、みんなでなにかするという機会はなくなってしまうので寂しい気持ちもありますが、楽しかった思い出や感謝を胸に、新生活への一歩を踏み出そうと思います。

在校生の皆さんも、残りの高校生活を精一杯楽しんで過ごして、たくさん思い出を作ってください。

感謝
2組

ついに卒業の日を迎えました。芝柏では、部活、クラスなどの場面でたくさんの人とかかわり、様々な経験をしました。特に高校三年生は人生最後となる事柄がたくさんあるとともに、大学受験もあり、仲間との対立や自身の挫折などを通して、学び、成長することが多かったと感じています。

そうした経験は、周りの人の支えがなければできなかったものばかりでした。生活面のサポートをしてくれた家族、多くの思い出をともに作り、成功の喜びや失敗の苦しみを分かち合い、時には対立することもあった友人、先生、先輩や後輩。今までの出会いや経験一つ一つのおかげで、今の自分があります。周りのかかわって下さったすべての方への感謝を忘れず、芝柏での経験を活かしてこれからも前向きに進んでいきたいと思います。ありがとうございました。

駆け抜けた三年間
3組

この三年間は、あっという間すぎて様々なことを昨日のこのように思い出すことができます。入学して初めてクラスに入ってみたら静かすぎて葬式でもやっているのかなと本気で考えたのも今では良い思い出です。その中でも私が一番印象に残っているのは文化祭です。私の中学校では、文化祭が無かったためクラス全員が一致団結し一つのものを作り上げるということは初めての経験でした。文化祭を通して、人間には向き不向きがあるためそれぞれが支えあって生きているのだなということを知ることができました。特に芝柏は、個性的な人がたくさんいるため深く知ることができました。これから私たちは、大学に行きそして社会に出ます。不安に感じている人や、楽しみにしている人様々だと思いますが芝柏で経験したことは絶対に無駄では無いと思うので堂々と胸を張って行きましょう。

最初は不安だらけでしたが今となっては最高の高校三年間でした。芝柏最高!!!!

巣立ちゆく者たちから

全力疾走
4組

この度は長らく時と共に過ごした素晴らしい仲間たちと共に卒業できることを嬉しく思います。私の過ごしたクラスは文武両道を確立しヴァイタリティーに溢れていて、私自身、多くの刺激を受けながらクラス会長という職務を全うすることができました。また、6年間という短い間でしたが先生方から様々なことに関してご指導をいただいたことを心より光栄に思います。

私はこの6年間を通じて「三点固定」を意識して生活して参りました。良い習慣は自分が達成したい目標がある時に必ず役に立ち、また、私自身、これから先の人生を歩んで行くにあたって、この考え方を軸にして生きていきたいと思っております。この考え方は38期の誰しもがこの3年間で培ったもので、社会で活躍する上で自信になると思います。最後に、6年間毎日規則正しく学校生活を送れたのは家族の支えがあつてのことでした。ここに感謝の意を示したいと思います。

3年間の思い出
6組

3年間の高校生活が終わり、私達は今日で芝柏を卒業します。

3年間は長いようで、今思えばあっという間でした。芝柏の高校生活は短く感じるほど充実していたように思えます。文化祭や球技祭、オーストラリアへの海外研修などはもちろんのこと部活動や普段の生活も今思えば楽しい思い出です。もちろん3年間楽しいことばかりではなく辛く苦しい経験も多くしました。でもそんな時に支えて下さる先生方や仲間達と共に乗り越えてきました。芝柏3年間で得た多くの経験や3年間と共に歩んだ仲間や先生方が今の自分を大きく成長させてくれたと感じています。これからはそれぞれの道を進んで行きますが、それでも芝柏での3年間は一生忘れられない思い出になっていくことでしょう。素晴らしい先生方と仲間を支えられてここまでくることができました。3年間ありがとうございました。

歩こう次の空へ
5組

今日は遂に卒業式です。でも卒業という実感が湧かない人や、それどころじゃない人もいると思います。けど今日ぐらいは将来のことなど考えないで、いつもの5組のように個性豊かに明るく騒がしく楽しく今日という日を迎えられたらな、と思います。

今日でクラス全員、学年全員が集まることは最後になります。だから、今日は3年間あるいは6年間一緒に過ごした仲間たちと共に笑い合い、一緒に過ごした日々を思い出し、共に別れを惜しみ合い、高校生活という長いようで短かったような日々の最後を締めくくりましょう。そして明日からこれからの人生に向けて大きな一歩を踏み出しましょう。最後になりますが僕と関わってくれた全ての仲間達、先生方、本当にありがとうございました。



一期一会
7組

卒業。私はこの時期が一番好きです。大事なものは失ってから気がつくというように、卒業式になって初めてこの三年間の自分を評価できるように感じます。皆さんはどのように感じていますか？私にとっては価値観の変わる三年間でした。入学当時は三年で切れる縁、大切にする必要のない出会いだと考えていましたが、多くの出会いを通して、人との繋がりを作り、保つことの尊さを知りました。この三年間で経験した出会いは私のこれから先の人生の大きな糧となるでしょう。

この学校での出会いで人生が変わった人も多いと思います。私たちの出会いはそれぞれの選択が招いた必然であるかのように感じます。これまで築き上げた縁は決して切れないものです。この先の未来、また巡り合う日が来たとき、私は胸を張れる人間でありたいと思います。皆さんのこれからの健闘を祈っています。

贈る言葉

副校長

「どんな時も人生には意味がある…」辛いとき、人は「なぜ自分だけが…」と自らの不運を嘆きます。しかし、後から振り返れば、それには必ず意味があります。「どこかに、あなたになされるのを待っている何かがある。あなたを必要としている誰かがいる。あなたはその人のためにできることがある。」一度きりの人生です。一所懸命生きてください。

教頭

「永劫」とは、仏教界においてもっとも長い時間を示す概念です。人間の一生は有限ですが、若い時期には未来永劫続くように感じ、時にはそれが時間の浪費につながることもあるでしょう。しかし、その「浪費」は皆さんの手により貴重な経験へと昇華させることも可能です。自己の目標へと歩み続ける皆さんのご活躍を祈念いたします。

学年主任	6組副担任
------	-------

新しい世界へ飛び立つ。自分の経験や背景知識が当てにならないときがある。むしろそれらが邪魔になることがある。そういう時は思い切って捨て去ってしまおう。解放感と新鮮さに包まれ、新たなものが自分の中から生まれてくる。この感覚から Autonomy や Agency に繋がっていくのだろう。グローバルを意識した活躍を期待しています。卒業おめでとう。

1組担任

苦しい時には前を向こう。苦しい時こそ上り坂にいます。うまくいっているときには気を引き締めよう。そこは下り坂なのかもしれません。これからの人生、幾多の困難が待ち受けているかもしれません。苦しみ乗り越えてこそ喜びに包まれます。失敗を恐れずに、挑戦することを忘れずに。君たちの未来に幸せが降り注ぎますように。

2組担任

38期みなさん、ご卒業おめでとうございます。新たな場での、みなさんの活躍を楽しみにしています。私の励みになるので、大学生・社会人になったみなさんの近況を知らせてください。自分に壁を作らず、自分の可能性を信じて、自分で決めた道を邁進して行ってください！充実した3年間を与えてくれて、ありがとうございます。

贈 る 言 葉

3組担任

「運命とは受け入れるべきものではない、それは自ら選び創り出すものだ。」

未来の自分は現在の自分からの連続関数。自らを信じれば道は必ず開ける。また、今この瞬間も大事な通過点。仲間への感謝を忘れず、絆を大切に。今後も信頼し合える関係でいましょう。

私自身もみんなと共に楽しく成長できました。感謝。また会いましょう。

4組担任

卒業おめでとうございます。芝柏での学校生活は充実したものになりました。君たちと共に過ごす中で、私自身も教師として多くのことを学び、成長することができた3年間でした。日々学ぶ中で、実際に何を学べるのかは心がけ一つです。なろうと思う自分にしかれない。これからも、焦らず弛まず、何より楽しんで。自分自身の道を突き進んで行って下さい。

5組担任

38期生のみなさんご卒業おめでとうございます。松下幸之助は「現状維持は後退の始まり」、ウォルト・ディズニーは「現状維持では後退するばかりである」と言ってます。自分が未完成であるという自覚があれば人は何歳になっても成長できるはず。変化の激しい時代で活躍するために、今に満足せず常に自分を高めていってください。

6組担任

運命はあると感じます。人生と言う見えない流に人は、さらされています。人生の転換期に於いて、自分の流れを作るためには、強烈なエネルギーが必要です。まさに大学進学に向けて、皆は、この瞬間に力を発揮し頑張っているのです。自分のかじ取りのために。成し遂げる熱い思いこそがエネルギーです。卒業おめでとうございます。

7組担任

「人が幸せであるのは、その人が恵まれているからではなく、ただその人の心のありようが幸せだからなのだ」生まれついてずっと幸せな人もいないし、幸せはただ待っているだけでは訪れません。幸せはそうなるようとするその行動、そうであろうとするその努力の中にあります。幸せになってください。そしてまた笑顔で会いましょう。

1・7組副担任

38期生のみなさん。卒業おめでとうございます。2年間という短い時間でしたが、すごく濃密な時間を過ごさせてもらえました。ありがとう。

春から新生活を迎え、高校生活とは全く違った日々を過ごすことになるでしょう。これからどんな楽しい未来が待っているのでしょうか。楽しみですね。みなさんの活躍を期待しています。

2・5組副担任

みなさんご卒業おめでとうございます。それぞれ進む道は違うかもしれませんが、ありがとうとごめんなさいとあいさつができる人間になってください。もうできている人は、仲間を大切に。自分の進みたい場所に一生懸命歩んでください。芝柏の先生方はきっとみなさんのことが大好きです。そんな人たちに応援されるような人になってください。

3組副担任

38期生のみなさんご卒業おめでとうございます。今日この日を迎えられるのはみなさん1人だけの力ではありません。自身を支えてくれた全ての人への感謝を忘れず、高校卒業という慶びを噛みしめてください。これからも出会いを大切に、たくさんのことを学び、自分の世界を広げていってください。豊かな人生を歩んでくれることを期待しています。

4組副担任

ご卒業おめでとうございます。コロナウイルスの件でもわかる通り、生物の世界はまだ謎だらけです。皆さんの旺盛な好奇心と探究心で、こうした謎が一つずつ解かれていくのを楽しみにしています。ただし難しいことは抜きにして、山や海で生きものと楽しく遊ぶことも是非大切にしてください。いつでもお付き合いします。お元気で。

2年次副担任

ご卒業おめでとうございます。高校2年次には5組の副担任と1組の教科担当として、高校3年次には日本史の授業担当としてお邪魔しました。それぞれに進路は多様でしょうが、新たな舞台で飛躍することを期待しています。

2年次副担任

学校生活で得た同学年、他学年の仲間たちをこれからも大切にしてください。皆さんのこれから先の道に私たちは常にはついてはいけませんが、仲間たちはきっと共にいつも歩んでくれるでしょう。

1年次担任

ご卒業おめでとうございます。卒業後も引き続き学び続け、社会の様々な分野で、世界の様々な地域で活躍されることを期待しています。しかし実際のところ全てが順調に行くことはないでしょうから、経験から学ぶことを特に大切にしてください。心身ともに健康であり、幸せな毎日を過ごしていけることを願っています。

1年次副担任

卒業おめでとうございます。3年前私も皆さんと一緒に芝柏高校に入ってきましたが、私はここに留まり、皆さんは先に進みます。これからは、皆さんが私の先生（先を生きるもの）です。新しい世界を作って見せて下さい。

卒業生 保護者挨拶

38期生学年代表

高校を卒業するにあたり、保護者といたしまして、一言お礼を述べさせていただきます。3年間、又は6年間、子どもたちの育ちを見守り、支えて下さった校長先生はじめ諸先生方、特に38期学年団の先生方に感謝申し上げます。

世界には77億人、日本には1億2千万人の人がいます。その中で出会ったこの278人の仲間。人は似たもの同士でしか集まらないそうです。自分のまわりの友人を見てください。友人はあなた自身を映す鏡です。この3年間で出会ったかけがえのない仲間は自分自身が向上心を持って過ごしてきた証です。この絆をこれからも大切に、

自分の道を歩んでいってください。

最後になりますが芝浦工業大学柏中高等学校の益々の発展と皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

